

殿町夜光線における路上駐停車の抑制対策に関する 社会実験の結果をお知らせします

川崎臨海部の幹線道路の円滑な交通に資することを目的に、市道殿町夜光線（川崎区）の沿線にラバーポールや仮設トラック待機所を設置し、その前後の状況変化や「物流業界の2024年問題」の影響を把握し、今後のトラックの路上駐停車の効果的な抑制対策に反映するために社会実験を行いました。

この結果、仮設トラック待機所の利用が昨年度と比べ約11%増加したことや、昼の休憩や休息としての利用が増加したこと等が確認されました。これは、2024年の働き方改革関連法の改正が一定程度影響したことが考えられます。

1 社会実験概要

(1) 実施期日

① 仮設トラック待機所設置期間

令和6年11月29日(金)～令和7年3月28日(金)（120日間）

② 臨海部立地企業ヒアリング実施

令和7年3月～4月

(2) 実験内容

① 殿町夜光線沿線に仮設トラック待機所を1ヵ所開設（駐車面積 約3,200 m²）

・場所：川崎区夜光3丁目2-2（かわさき南部斎苑と入江崎水処理センターとの間）

・待機所：バイオトイレ（排泄物を微生物の働きで分解・処理するトイレ。下水管接続が不要。）、自動販売機を設置

② 路上駐停車抑制対策に関する社会実験（令和5年度）で設置したラバーポールを殿町夜光線の上下線の路肩に継続して設置

・設置区間：かわさき南部斎苑～運輸支局前交差点（約760m）

③ 令和5年度の路上駐停車台数との比較や、仮設トラック待機所の利用台数を調査

2 社会実験等の結果

(1) 仮設トラック待機所の利用

・昨年度より、利用台数が増加

・特に、朝(7時)と昼(12時)の時間帯の増加が顕著

・2024年の法改正の影響と推察される休憩や休息が増加

別紙1、2参照

① 仮設トラック待機所の平均利用台数の変化

令和5年 平日の平均利用台数 約59台

令和6年 平日の平均利用台数 約66台 **約11%増加**

② 仮設トラック待機所の時間帯平均利用台数の変化

朝(7時)の平均利用台数が **1.7台 約15%増加**

昼(12時)の平均利用台数が **3.2台 約32%増加**

③ 法改正による働き方の変化についてのアンケート調査結果

※アンケート調査対象者：仮設トラック待機所及び池上新町3丁目の大型車駐車場利用のドライバー

設問1：「2024年の法改正により働き方の変化」の有無について、

「働き方が変わった」、「今後働き方が変わる」が416件回答中138件、約33%の回答。

設問2：設問1の「働き方が変わった」・「今後働き方が変わる」の回答者における働き方の変更内容

「休憩時間の確保」、「休息時間の確保」が161件回答中72件、約45%の回答。

(2) トラックの待機場所

- ・企業の敷地内等に待機所を用意しているものの、知らない運転手が多い
- ・企業内の待機所があることを知っていても、「利用できる時間の制限」や「混雑して利用できない」理由から利用されていない

別紙2参照

① 待機所を用意している荷主企業は、44社中40社。約91%

② 仮設トラック待機所を利用したドライバーの待機所についてのアンケート調査結果

設問1：「目的地の待機所の有無」の把握状況

223回答中「ある」が66件、約30%の回答。「ない」が157件、約70%の回答。

設問2：「目的地に待機所がある」と回答したドライバーが、目的地の待機所を利用しない理由

91回答中「利用できる時間が制限」が50件、約55%の回答。

「待機所が混雑して入場できない」が21件、約23%の回答。ほか

3 今後について

社会実験を重ね、仮設トラック待機所の利用台数が増えていること、さらに、休憩や休息をとるニーズは増加しています。こうした中、各企業に待機所等があるにも関わらず、そのことを知らないことや、立地企業の待機所等の時間制限や混雑状況から、トラックの敷地外での待機が生じています。

一方、臨海部の一部の立地企業では、荷積み・荷卸し、待機の手法を大きく見直し、生産性の向上につなげた先進事例があることから、こうした取組を広く周辺企業に周知するなど、トラックの路上駐停車抑制につなげてまいります。

また、川崎臨海部における立地企業の操業に伴うトラックの発集は、今後も生じるものと見込まれ、時間調整・休憩・休息等のための待機のニーズは、一定程度あることから、池上新町3丁目のPark-PFIの事例^{*}も踏まえ、民間活力を生かした路上駐車抑制対策の効果的な手法について、引き続き検討してまいります。

※川崎市ホームページ参照

URL：<https://www.city.kawasaki.jp/590/page/0000133341.html>

【問合せ先】

川崎市臨海部国際戦略本部基盤整備推進部 石川
電話 044-200-3788

(1) 仮設トラック待機所の利用状況



図1 仮設トラック待機所の様子

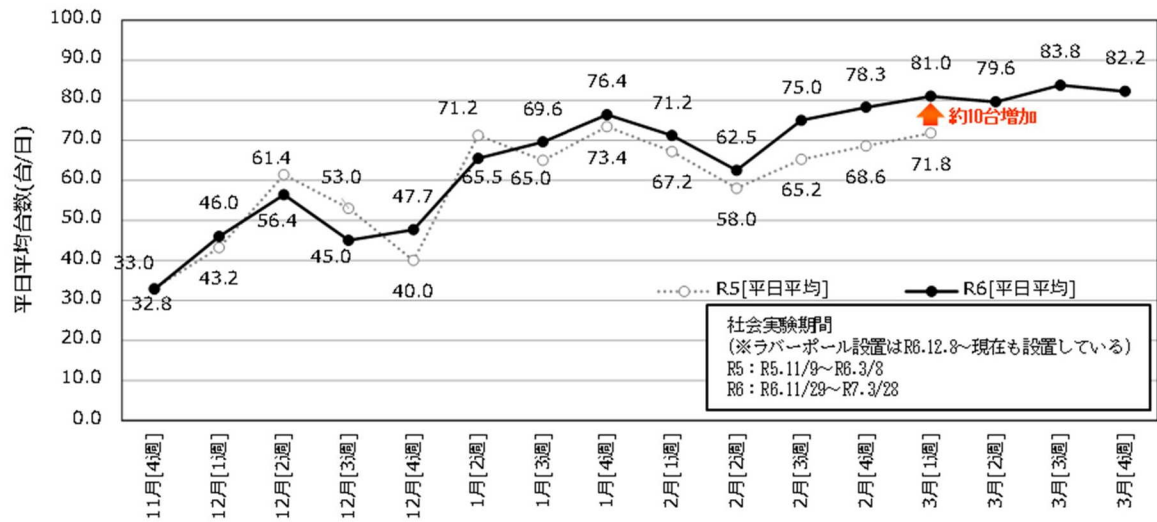


図2 Webカメラによる仮設トラック待機所の利用台数調査の結果(時期を合わせ比較)

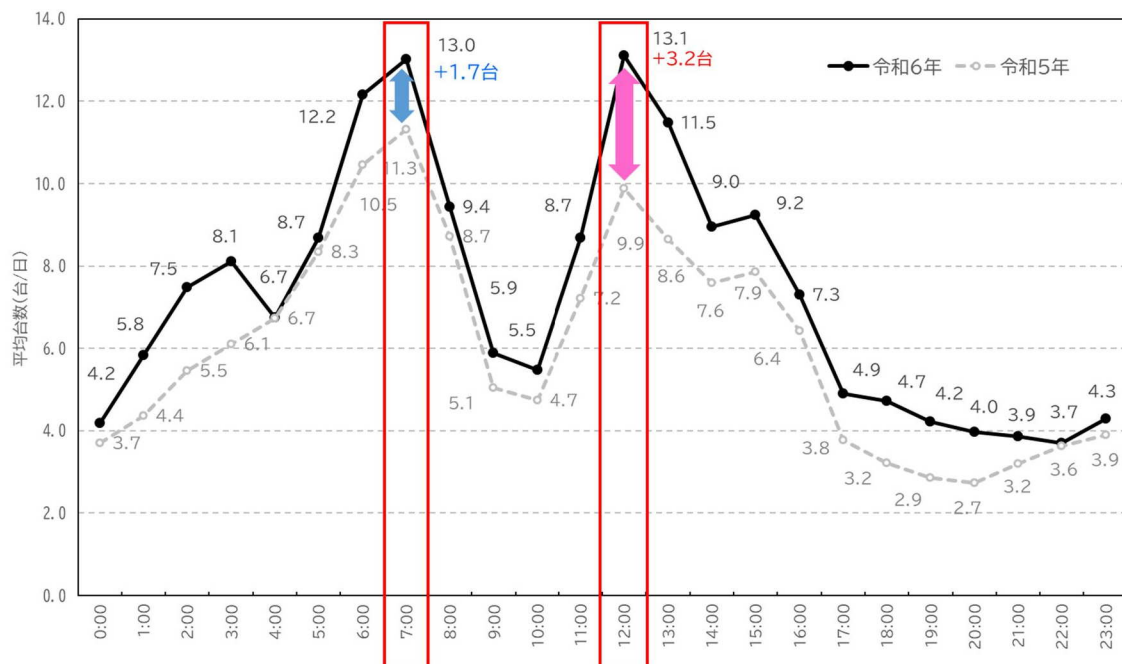


図3 仮設トラック待機所の時間別利用台数調査の結果

(1) 仮設トラック待機所の利用状況

●2024年の法改正による働き方の変化とその理由

Q. 働き方が変わったか

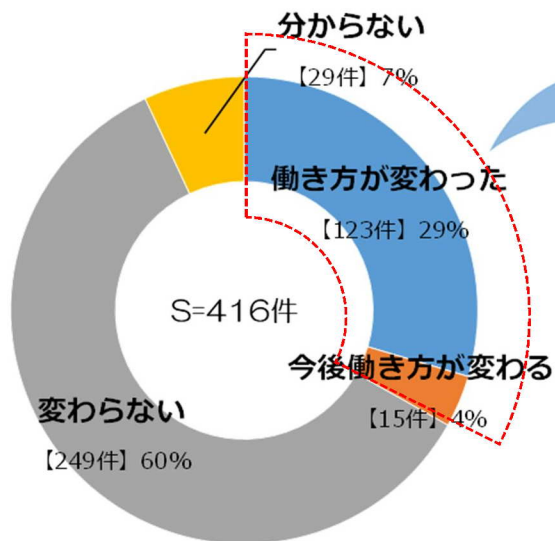


図4 アンケート調査結果(働き方の変化)

Q. どのように変わったか

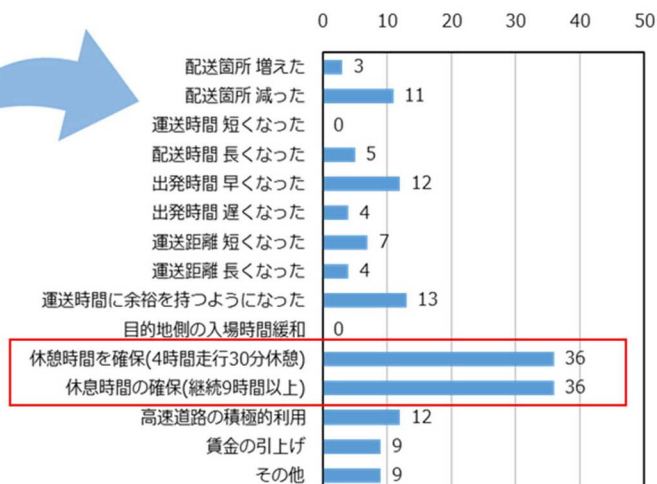


図5 アンケート調査結果(働き方の変化の理由)

(2) 大型車の待機場所

Q. どのような待機場所を準備しているか

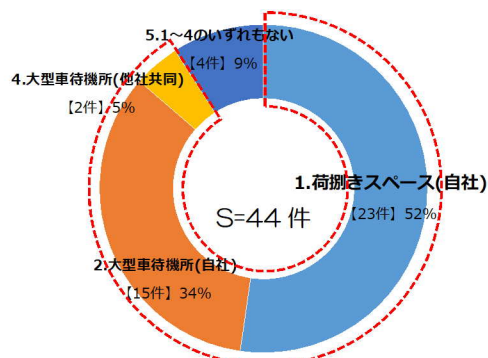


図6 [荷主対象]アンケート調査結果(待機所の設置状況)

Q. 目的地(積込み先・荷卸し先)に待機所はあるか

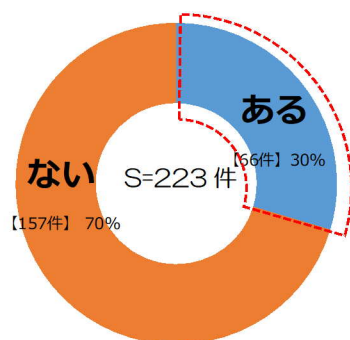


図7 [ドライバー対象]アンケート調査結果(待機所の設置状況)

Q. 目的地の待機所を利用しない理由

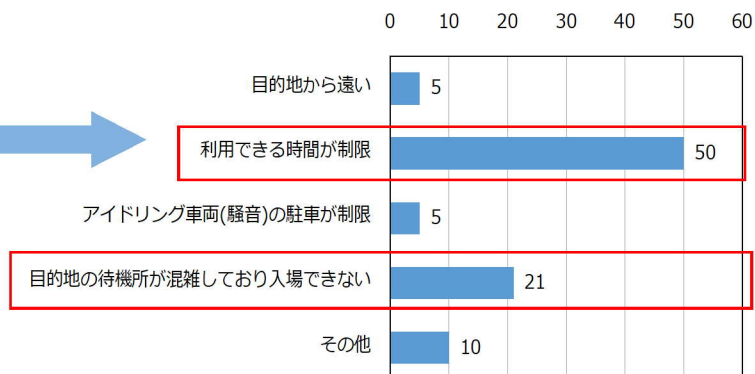


図8 [ドライバー対象]アンケート調査結果(目的地の待機所を利用しない理由)